

2017年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	文学部 ドイツ語圏文化学科 3年（留学年次） 4年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 バイロイト大学 文化教養学部 宗教・教育学科
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2017年 10月 1日 ～ 2018年 7月 13日 出国日 2017年 9月 27日 最終帰国日 2018年 8月 9日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

1年間を経て、相手に自分の意見を素直に発信することへの抵抗が言語を問わずいい意味で少なくなったと感じます。多国籍の学生との共同生活や、ワールドカップ開催が留学期間に重なったこともあり、他国の文化や歴史について理解を強めようという思いが強くなりました。一方で、語学の上達や多文化理解の難しさを改めて感じている部分もあり、帰国後はさらに自他の文化に丁寧にも敏感に向き合い、学んでいく必要があると感じています。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

語学力、特に英語力です。こちらでの生活ではもちろんドイツ語を話す機会が多いですが、特に留学生同士など英語でコミュニケーションを取る機会がありました。学部学科によりませんが、授業もオールイングリッシュで行われるものが多くありました。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

バイロイト大学は外国人学生の割合が高く、外国人率の高い授業では授業の内容や進度、配布物の点で配慮を感じました。学科や授業内容によりませんが、概して外国人率が高いことは授業の内容により活気と多様性をもたらしていると感じます。教授は生徒の積極的な姿勢を望んでおり、留学生であっても正規学生と区別なく向き合ってくださいました。

授業の登録変更、配布資料や自学教材といった授業関連の資料は、オンラインで自ら確認

や印刷をすることが多くあり、こうしたシステムに慣れてからは大変便利に活用することが出来ました。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

比較的新しい大学なので、設備はよく、勉強にも集中できる環境が整っていたように感じます。図書館は深夜まで開いており、食堂やカフェも朝早くから夜 8 時ごろまで利用する事ができます。スポーツプログラム展開するジムやグラウンド、大学関連のオフィスも全て同じキャンパスにあり便利です。また、学内には 3 箇所のバス停が設置されています。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

ドイツ語の授業は細かくレベルが分かれており、学期初めのテストにてクラスが決まります。語学の授業はレベルによって週に 2 コマから最大 4 コマ。語学以外にも、外国人学生を対象に、ドイツの大学での過ごし方、レポートや手紙・メールの書き方の講義が開講されていました。他の語学に関しても、授業は決して易しくはありませんが履修することが出来ます。いずれの語学クラスも定員が決まっているため、登録期間に入ったら可及的速やかに登録することが必要です。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

International office が基本的に留学生の相談に乗ってくれ、問題解決を手伝ってくれます。また、ISN という留学生をサポートする団体が正規学生と留学生とのバディプログラムを用意しています。またパーティや旅行といった国際交流の場も定期的に設けられています。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

1 年間の滞在では、特に大きなものは存じ上げません。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

バイロイトは大変治安の良い場所です。他の街、国を訪れるとその事がよく分かります。もちろん、身の回りのことはどこに行っても自己責任ですので、用心するに越したことはないかと思います。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

留学生の割合が高く、アフリカや中東地域からの学生が比較的多く、文化の多様性に富んでいます。学生が主体となった催しがよく開かれていると感じました。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
-------------------	----------------------

Deutsch B1 (1)	
Deutsch Brückenkurs B2 (2)	
Deutsch Ausdruckfähigkeit B2 (1)	
Deutsch als Wissenschaftsfremdsprache KursA (4)	
Spanish (1)	
Academic Presentation Skills B2+ (1)	
International Communication in English Advanced B2+ (1)	
English Aufbaukurs C1, Around the world 80 Englishes (1)	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 200€、(日本円) 約 2万5千円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、計 5~10 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

私の暮らした寮は大学から徒歩 10 分、街の中心部からも 20 分程度で、通学にも買い物にも便利でした。3 人の学生とキッチンシェアしていましたが、特に大きな問題等はありませんでした。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 110€、(日本円) 約 13000 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 ()、(日本円) 約 15 万円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 600€、(日本円) 約 円

※宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

国際キャッシュカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード / 現金 / その他 (デビットカード)

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

カードは国や店舗によって使用できない場合があるので、複数の種類を持参してよかったです。現地で開設した銀行のカードも活用していました。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

頂いた奨学金は生活費、教材購入費にあてました。

5. 保険について

(1) 保険会社名

TK (Techniker Krankenkasse)

(2) 保険料

月額約1万円

(3) 加入した保険の種類、内容

学生保険

(4) 感想、良かった点・悪かった点

大学が推薦した保険であり、歯科に関する保険が含まれているものだったので、安心して Visa の申請書類として提出することが出来ました。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物 / 船便 / SAL 便 / 航空便 / 海外宅配便 / その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

薬、日本食 (郵送しづらい為) 文法書、歴史の本

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

ラップやビニール袋など日用品、冬靴 (現地調達が良いかと)

(4) 持って行けば良かったと思う物

関心のある分野の専門書、時事問題に関する書籍
パソコンの外付け DVD ドライブ

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

授業はたいてい午前中または午後に固まっていたので、授業のない時間は家事や自学の時間に当てていました。スポーツやコーラス、多国籍の学生が集う場所にも参加することが多くありました。

(2) 週末

日曜日はたいていの店は開店していないため、友人や知人と勉強をしたり、カフェに入ったり、近郊の街に出かけるなどして過ごしました。

8. 後輩へのアドバイス等

先輩方の報告書は参考になることが多いと思います。ぜひ留学準備や向こうでの生活に役立ててください。時間は有限です。留学生活に関して様々な不安があると思いますが、ぜひ悔いのない準備をして、やり切ったと思える一年にしてください！応援しています。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。